

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉                      ○国語科、算数科ともに正答率が全国・岡山県平均を上回っている。また、前年度に比べて活用の問題で伸びが見られる。                      ○どの学年も無回答率が低く、粘り強く問題に取り組む姿勢が身に付いていることが分かる。                      ○国語科では、「話す・聞く」、「書く」の領域の正答率が高く、目的に応じて話したり正しく聞いたりすること、構成を考えて文章を書くことができるようになってきている。                      ○算数科では、「図形」領域の正答率が高く、図形の面積や角の大きさを求めたりすることができている。</p> <p>〈課題〉                      ▲国語科では、「修飾・被修飾の関係を捉える」、「言葉や漢字を文章の中で正しく使う」など、言語領域において課題が見られる。                      ▲算数科では、「測定」領域の正答率が他領域より低くなっており、表やグラフを正しく読み取ったり複数のデータを比較したりすることが十分にできていない。</p>	<p>〈成果〉                      ○国語科、算数科の授業の内容がよく分かったと答えた児童が多い。                      ○授業では、落ち着いた雰囲気の中で集中して学習している児童が多い。                      ○家庭学習の習慣が身に付き、自分で計画を立てて学習している児童が多い。                      ○自分が住んでいる地域が好きで、地域の行事に進んで参加している児童が多い。</p> <p>〈課題〉                      ▲将来の夢や目標をもっている児童の割合が岡山県平均に比べてやや低い。                      ▲地域や校内であいさつをしていると答えた児童は約半数。進んであいさつをする児童が県平均に比べて少ない。                      ▲家庭におけるメディアとの関わりは岡山県平均に比べると短い。家の人との約束が守れない、3時間以上ゲームをする児童が10～20%程度いる。</p>

改 善 策

学 校 で の 取 組

- ①「六小つ子 学習の約束」を大切に授業づくり
  - ・学習の準備 ・姿勢 ・話の聞き方 ・発表の仕方 ・学習用具など
- ②国語科・算数科を研究教科とした「主体的に考える力」「協働する力」の育成
  - ・「考えたい！」のために…問題提示の工夫 見通しのもたせ方
  - ・「伝えたい！」のために…話す目的・テーマの設定 聴く力・返す力 教師のコーディネート力
- ③「あいさつがんばろう週間」(毎月第1週)の取組
  - ・挨拶の5つのポイントを示し、あいさつ名人をめざして児童会を中心に取り組む。
  - ・挨拶運動は中学校、地域(青少年協議会・民生委員)と連携して行う。
- ④家庭学習・メディアコントロール
  - ・宿題+自主学習で学年の家庭学習の目安の時間になるよう呼び掛け、生活頑張りカードを活用して指導する。
  - ・メディアコントロール週間には、「メディアの時間マイナス10分！家庭学習プラス10分！」の合言葉のもと、家庭での学習・生活の仕方を見直すことができるようにする。

中 学 校 区 で の 取 組

- 中学校の試験期間に合わせて「メディアコントロール週間」を設定し、規則正しい生活・メディアコントロール・家庭学習の習慣の確立をめざす。
- 各校の授業参観の機会を設け、園・小・中学校のスムーズな接続を図る。
- カリキュラムに基づいて指導・支援したり、校種間で情報交換をしたりし、中学校区で一貫した教育・指導ができるようにする。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 「家庭学習のしおり」「自主学習だより」を活用し、家庭学習の約束を守りながら宿題・自主学習に取り組むよう、励ましをお願いします。
- 民生委員の挨拶運動を毎月20日に設定しています。子どもたちに挨拶の呼び掛けをお願いします。気持ちの良い挨拶をしている児童をぜひ学校までお知らせください。